

2016年調剤報酬改定を踏まえて多剤併用への対応、健康サポート機能に取り組む
高齢者に対する適切な薬物治療の実践を医師と薬剤師が協働

一般社団法人 日本老年薬学会 設立記念講演会

2016年6月19日（日）

14時～17時30分（開場13時30分）

慶應義塾大学薬学部

講演内容（予定）

高齢者に多くみられる症候、障害（精神疾患を中心に）

筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授

水上 勝義

高齢者には様々な精神症状がみられます。その治療として薬物療法が行われますが、高齢者は向精神薬の副作用が現れやすく特に注意が必要です。今回は、高齢者薬物療法ガイドライン2015の内容にそって認知症の行動心理症状、不眠症、うつ病に焦点をあて、症例を紹介しながら、薬物療法上の留意点について実践につながる講義を行います。



高齢者における薬物動態の変化と薬物治療

鈴鹿医療科学大学薬学部 病態・治療学分野 臨床薬理学研究室 教授

大井 一弥

高齢者は、各臓器での生理機能の低下が見られるので、投与した薬物の体内動態は、若年成人よりも遅延傾向にあると考えます。今回の講演では、経口薬投与における加齢による薬物動態（吸収・分布・代謝・排泄）変化の留意点および考慮すべき薬物治療の特性について講義をいたします。



高齢者の処方見直しへのアプローチ

同志社女子大学薬学部 臨床薬学教育研究センター 教授

杉浦 伸一

高齢者医療における薬剤師業務のシフトは1989年のゴールドプランに端を発している。それ以降の医療政策は、薬剤師を在宅医療の担い手にすべく進められており、薬剤師に求められる技能も明確になってきた。今回の講演では、高齢者医療に求められる薬剤師の技能について、医療政策、臨床栄養、フィジカルアセスメントの必要性を踏まえポリファーマシーの実態そしてアプローチ方法について具体例をあげて説明する。



[会員]無料 / [非会員] 3,000円 ◎参加は、会員優先になります。

学会年会費 [一般会員]5,000円 / [学生会員] 1,000円

設立記念講演会の参加には申し込みが必要です。
ホームページからお願いいたします。先着順になります。

講演会（今後の予定）

	関東圏	中京圏	近畿圏
第3回講演会	9月11日（日）	10月16日（日）	11月20日（日）

老年薬学認定薬剤師取得の為の必須講座となります
（受講証明書発行及び日本薬剤師研修センター受講シール発行予定）

◎参加申込はホームページをご確認ください
日本老年薬学会で検索してください。

<http://www.jsgp.or.jp/>